



テーマ  
Theme

「あんしん教室」

学校名  
School

東近江市立湖東第三小学校(2年生)

講師等  
Lecturer

ALSOK

実施日  
Date

平成24年7月4日

教科等  
Subject

特別活動(学級活動)

授業  
Class

代表の児童が防犯ブザーを押し、けたたましい音が鳴ると、ヘルメットに防弾チョッキ、棍棒を腰に下げた警備員がかけつけてくれました。鍛え抜かれた逞しい筋肉、精悍な顔つきの若き現役の警備員の登場に、児童から歓声が上がりました。

不審者に出くわしたときの対処法5原則「いかのおすし=いかない。(車に)のらない。おおごえを出す。すぐにげる。(大人に)しらせる」を実践学習しました。

4人の男女の顔写真から「ついていったらダメな人」を問うクイズでは、帽子・サングラス・マスクを装着した人物を多くの児童が「危険」とした一方で、眼鏡をかけて微笑むワイシャツ姿の中肉中背の男性を「優しそう」と判断。講師は「どの人も知らない人。絶対ついていってはいけない」と釘をさしました。大声で「助けて」を叫ぶ練習もしましたが、「怖いときは声が出せない」という実情も教え、笛やブザーの携帯を薦めました。

車に乗った男が「道を教えて」と尋ねてきた場面では、地図を見せられた児童は思わず地図を指さした瞬間、男に手首をつかまれてしまいました。「人に親切にする気持ちは忘れないでほしいけど、知らない人に近づきすぎないで」と話し、大人が手を伸ばしても捕まらない距離感をつかみました。

児童らはとっさの有事に対処できるように実践を通して学び、防犯意識を高めることができたようです。



感想  
Impression

児童より Impression from Children

- いきなり警備員のお兄さんが助けに駆けつけてくれて、びっくりしたけど、とてもかっこよかったです。
- 道を教えるくらいなら、知らない人でも大丈夫だと思っていたけど、手をつかまれてしまったので、近づきすぎたらいけないと思いました。
- 「お母さんが病気で倒れて、病院にいるから一緒に行こう」と言われても、いったん家や学校に行って大人に確認してみないといけないと思いました。
- 襲われたとき「助けて」と大声を出して大人を呼ばなきゃいけないけど、絶対ふざけて使ったらいけないとわかりました。
- 大人相手でも本気を出したら自分が勝てると思っていたけど、友だちが簡単に持ち上げられるのを見て、戦わずに逃げようと思いました。

学校より Impression from school

短時間の授業にもかかわらず、ALSOKの方が打合せに来て下さり、見通しをもって連携授業に臨めました。保護者の方にも参観して頂き、防犯について考えるきっかけをつかんだと好評でした。

講師より Impression from lecturer

当日の進行等すべて弊社で対応し、スムーズに進みました。保護者の方も参観されたことで、児童が何を学んだか直接お伝えすることができました。

連携授業は学校側からの依頼を真摯に受け止め、実施させて頂いています。その中で、学校の要望が真に必要なものか、とりあえず開催してほしいだけなのか、目線が子どもたちに向いているか、開催を目的にするのではなく、その後子どもたちにどれだけ記憶に残せるかを、学校・企業共に考えたいと思います。